

令和5年度分科会活動報告

へき地遠隔医療分科会

SIG Rural Telemedicine

分科会長 原田 昌範

山口県立総合医療センターへき地医療支援センター

1. 分科会の目的

へき地における遠隔医療、オンライン診療等について現状や課題を関係者で共有し、へき地医療の確保および地域包括ケアを推進につながる学術活動を実施する。

2. 令和5（2023）年度活動実績と成果

現在、8名のメンバーが在籍。厚生労働科学研究費補助金（令和3～5年）「海外の制度等の状況を踏まえた離島・へき地等におけるオンライン診療の体制の構築についての研究（21IA2007）」を実施した。分科会のメンバーの古城氏は分担研究者、長谷川氏は研究協力者として活動した。2023年11月11日に開催された第12回本学会において、厚生労働省医政局総務課の矢野好輝氏を招聘し、分科会企画・シンポジウム「離島へき地における遠隔医療のこれから」を開催した。さらに2024年3月16日 第2回へき地遠隔医療推進協議会を開催予定。

3. 令和6（2024）年度活動計画

分科会のメンバーの古城氏、長谷川氏を中心に本分科会の活動を推進し、発展させる。本領域の啓発本を本分科会と日本プライマリ・ケア連合学会（ICT委員会・島嶼およびへき地医療委員会）と公益社団法人地域医療振興協会と連携して、作製予定。第3回へき地遠隔医療推進協議会を実施予定。